

生涯学習の充実を図っていくうえで、行政だけでできることには限界があり、各種団体や市内に立地する大学との連携を強化し、協働で取組んでいくことが必要です。

ここでは、生涯学習の分野において市内団体や大学との連携により期待されることや、連携を図っていくうえでの行政の役割について整理します。

1 市内団体との連携

市内には、NPO団体、社会教育関係団体、ボランティア登録団体等数多くの団体が存在し、生涯学習の推進にあたってはこれら団体と連携し協働で取組むことが必要です。

本市の今後の生涯学習において、行政と市内団体が連携することにより、以下のようなことが期待されます。

市内団体との連携により期待されること

- 各団体には、それぞれの活動により培われた知識・ノウハウの蓄積があることから、それらが発揮されることで生涯学習の充実につながります。
- 講師依頼や活動の場の提供などにより、市民の学習成果の発表の場となるとともに、様々な学習ニーズに対応でき、市民同士の学びあいの場が醸成されます。
- 行政と団体が役割分担をしながら生涯学習を推進することで、学びの質の向上が図られ、輪が広がります。

また、市内団体との連携において行政が支援、協力できること（役割）として、以下のようなことが考えられます。

市内団体との連携における行政の役割

- 団体が自主的に活動できるよう支援するとともに、団体同士の交流機会の充実を図ります。
- 多くの団体で課題となっている高齢化や運営の担い手不足を解消するため、団体自体やその活動状況などの情報を市民へ発信することで、市民の団体への参加を促進します。

2 大学との連携

市内には愛知医科大学、愛知県立芸術大学、愛知県立大学及び愛知淑徳大学の4大学が立地するほか、隣接する市にも多数の大学が立地しています。

本市と市内4大学は、まちづくりにおいて相互の発展や充実に向けて連携を深める包括的な連携協定を結んでいます。協定では、地域のまちづくり、教育・文化の振興のほか、生涯学習の推進についても連携していくことが明記されています。

本市の今後の生涯学習において、市内4大学に限らず近隣大学も含めて行政と大学が連携することにより、以下のようなことが期待されます。

大学との連携により期待されること

- 大学からの人材派遣等により、専門的で質が高い学習をしたいという多様化・高度化した市民の学習ニーズに対応できます。
- 生涯学習の推進にあたり、大学の専門的な立場から助言や援助を得られます。
- 大学教員、学生、市民が生涯学習を通じて交流することにより、地域の活性化につながります。

また、大学との連携において行政が支援、協力できること（役割）として、以下のようなことが考えられます。

大学との連携における行政の役割

- 各大学が実施している公開講座や生涯学習関連事業などの学習情報を積極的に市民へ発信することにより、市民の学びの場の充実を図ります。
- 大学の研究成果をテーマに講演などを行うことにより、市民の学習意欲の向上に役立てます。
- 大学の施設を活用しやすいような環境整備に努めます。

市においてはこれまでも、大学による市民向けの連携講座等の事業が行われてきましたが、“学習の提供”といった、限られた範囲での連携であったといえます。

これからは大学との連携により、学習の提供のみでなく、生涯学習を通じて市民、大学（研究機関・学生）、行政が相互に積極的に交流し、人と人とのつながりをつくり、結果としてまちづくり・地域づくりにつながっていくような施策を検討し、実施していくこととします。

▼大学との連携のイメージ

